

事業実施報告書

法人名	特定非営利活動法人猫の里なごの家
活動名	上尾市 尾山台団地および周辺住民を対象とした地域食堂の運営
助成事業の種類	自立促進
	人間分野
事業の目的	
生活の困窮から、多頭飼育崩壊をはじめとした生活環境の崩壊や動物の虐待などの問題が発生する事象が多く、問題の発生を未然に防ぐ対策・活動として地域食堂の存在は重要と考え、地域食堂の運営を通じ、社会的弱者として認識されにくい、高齢ではない独居生活者や軽度の精神的障がい者、ひとり親をはじめとする子育て世代との接点を多く持つことで当団体の主たる保護猫活動の背景となっている社会的孤立や貧困といった問題に対峙すること	
事業で取り組んだ地域や社会の課題	
活動の拠点となる食堂は、高齢者や低所得の居住者も多く、地域食堂の需要が高いにも関わらず、当団体以前に食堂を運営していたNPO法人の高齢化が原因で閉店せざるを得ない状況となっていた	
また、長年、日々の食事提供で手一杯で、店舗の修繕や設備の更新が出来ず、利用客が固定していたことも経営維持の課題と考えられ、店舗の改修をすることにより、これまで来店の少なかった若い世代の人々にも利用しやすい環境をつくり、来店機会・サービスを楽しむ機会をつくる必要があった	
取り組んだ事業の具体的な内容・実施結果	
遅い時間まで仕事をしている住民も少なくなく、バス停に近い立地であることもあるため、食堂での飲食に加え、手頃な値段の持ち帰り可能な惣菜の販売など、地域のニーズに応えるサービスの提供の開始	
改装前の集会所のような事務的な店構えが店の認知度や来店を妨げている要因となっていると考え、照明の変更、椅子・テーブルの座板や天板の修繕・取替えにより、温かみある居心地よい店舗イメージを創り、誰もが入りやすい設えとした。助成事業外となるが、漏水で損傷した床をフローリング調のクッション材に変えたこともイメージアップの要因となった	
ピザ窯やコーヒーマシンの導入により、ピザやカフェメニューなどの若年層・ファミリー層に合わせたメニュー提供を開始し顧客層の拡大を図った	
SNSを利用した広報活動を行うとともに、当団体の参加する地域イベントにて食堂のメニューの提供を行い、より広く人々に食堂の存在を認知してもらうよう活動を実施	
年末には食堂のイベントとしてピザを主としたクリスマスメニューの提供を実施したことで店の認知度が上がり、若い世代のリピーターが増えた	
事業実施により達成した成果の具体的な内容	
調理機器を更新しによりピザやケーキ・コーヒーなどをメニューに加えることが可能となり、若い子育て世代や外国人の利用がみられるようになり、地域食堂として多様な人々とのコミュニケーションが増え、地域食堂運営の本来の目的でもある「孤立化の防止」に貢献している実感を得られるようになってきている	
コーヒーをはじめとする飲み物やケーキなどメニューを増やしたことで、昼食に来店した利用者同士の会話が増え、長居をする利用者も出てきたことも「孤立化の防止」につながっていると考えている。	
地域での認知度が高まりリピーターや団地周辺以外から来てくれる客が増えており、来客数・客単価が上がってきている	
数千円/日の売り上げが2万円/日を超える日が生じ経営を見込める状況ができてきた	

費用面での工夫
畑を借り、野菜を栽培して食堂メニューの材料とする他、野菜そのものの店頭販売を実施
当初、新品に取り替えを検討していた椅子やテーブルについて、既存品の処分費がかなりかかることが判明したため、座板やテーブル天板の修繕・取り替えに変更して予算内での計画を実施
買い替えを申請をしていた炊飯器が助成金の決定前に壊れてしまい、先に自費にて購入をせざるを得なくなったため、炊飯器に替えて若年層や子供に人気の高いピザを提供するよう、ピザ窯を購入し、客層の拡大に繋げることができた
地域社会への還元
年金や生活保護を主な収入として暮らす地域住民のための低価格の食事提供を継続。
「食」を通じた交流機会の創出。特に、ひとり暮らし高齢者の日常的な「おしゃべり」のきっかけとなっていることを実感している
食事のメニューに加えて提供を始めたケーキを、子供の誕生日ケーキとして注文を受けることも少なくなく、日常の食事のささやかな「特別感」や「楽しみ」に貢献している
今後どのように事業を継続し発展させるか
物価上昇の影響が大きい状況のなか価格を上げることが難しいため、社会的意義を共有してくれる個人ボランティアや他団体との協力を模索したい。
現在の運営状況では営業時間の制約が大きく売上にも影響しているため、惣菜の自販機を設置するなど対面での対応ができない時間にもできるサービスを検討し、経営の安定化を目指す
県内で開催されるマルシェなどのイベントに積極的に参加をしたり、SNSでの発信を継続的に行い、活動の認知度を上げ利用者の増加を図る

事業収支計算書

法人名 特定非営利活動法人猫の里なごの家

1 収入の部

(単位:円)

項目	予算額 A	決算額 B	増減額 C=B-A	備考
助成金	500,000	500,000	0	
自己資金	34,450	38,548	4,098	
活動実施による収入等	54,000	48,200	△ 5,800	
その他	0	0	0	
収入の部 合計	588,450	586,748	△ 1,702	

2 支出の部

(単位:円)

項目	予算額 A	決算額 B	増減額 C=B-A	備考
会場費	0	0	0	
通信運搬費	0	0	0	
旅費交通費	0	0	0	
消耗品費	270,408	189,588	△ 80,820	
備品費	60,500	113,280	52,780	
委託費	256,492	282,720	26,228	
謝金	0	0	0	
人件費	0	0	0	
その他	1,050	1,160	110	
支出の部 合計	588,450	586,748	△ 1,702	